

マップハンガー / ミラーハンガー

教室、実習室などで活躍するハンガー。

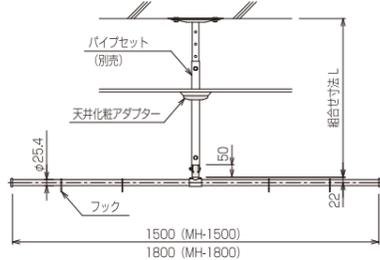


MH マップハンガー

教室、研修室等で地図掛け用として使用するハンガーです。



- パイプ本体部分は360°回転式になっており
ポジショニングは任意で設定可能です。
 - フックにより簡単に地図などを下げられます。
 - ステンレス製で丈夫。
- ※マップハンガーはオプションのパイプセットが必要です。(▶P.118)



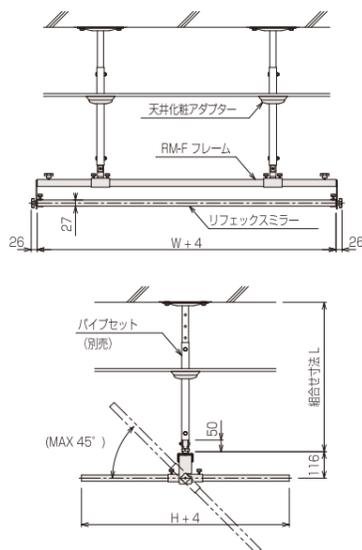
型式	全長 (mm)	付属品
MH-1500	1500	天井化粧アダプター フック4個
MH-1800	1800	

RM ミラーハンガー

講師による実技作業の手元をより多くの方々に見てもらえるように考案されたハンガーです。



- 吊下げているミラーはリフレックスミラーで軽量且つ安全です。
 - 角度は45°まで調整可能で、視聴者の位置により角度調整ができます。
 - ミラー角度を可変する電動タイプの製作も可能。
- ※ミラーハンガーはオプションのパイプセットが必要です。(▶P.118)
※リフレックスミラー：高精度の透明ポリエステルフィルム(裏面銀蒸着、厚み25μm)を中空張りにして、アルミフレームにパネル上に仕上げたガラスレスミラーです。



セット型式	ミラー型式	ミラーサイズ W×H(mm)	適用フレーム	天井化粧アダプター
RM-1309F	RM-1309	1300×900	RM-F130	KY-30A
RM-1809F	RM-1809	1800×900	RM-F180	
RM-1612F	RM-1612	1600×1200	RM-F130	
RM-1812F	RM-1812	1800×1200	RM-F180	
RM-2412F	RM-2412	2400×1200	RM-F240	
RM-2013F	RM-2013	2000×1300	RM-F180	
RM-1614F	RM-1614	1600×1400	RM-F130	
RM-2014F	RM-2014	2000×1400	RM-F180	
RM-2414F	RM-2414	2400×1400	RM-F240	

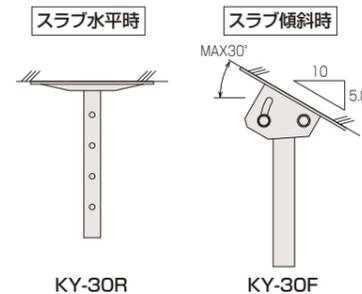
ミラー、適合フレーム、化粧アダプターはそれぞれ単品でお求めいただけます。

ハンガー設置例

マップハンガー設置例

スラブ取付板 P.118

スラブ面に取り付けし、パイプとのジョイント用の金具です。スラブ面の状態によって2種類からお選び下さい。



パイプ KY-P P.118

各種スラブ取付板にジョイントします。組合せにより高さの調整が可能です。

スラブ埋込金具 TH-20R P.118

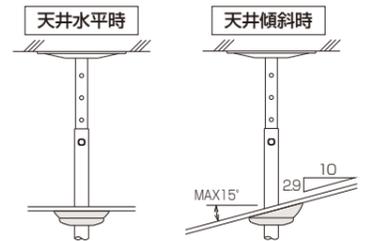
天井スラブ内に予め埋込み、スラブ取付板を固定する金具です。埋込み式ですので堅牢性に優れています。

振止め強化キット FK-01/02 P.118

ハンガーの揺れを軽減する為の安全対応の金具です。

天井化粧アダプター KY-30A P.118

パイプに挿入し、天井面の開口部の化粧処理をするカバーです。

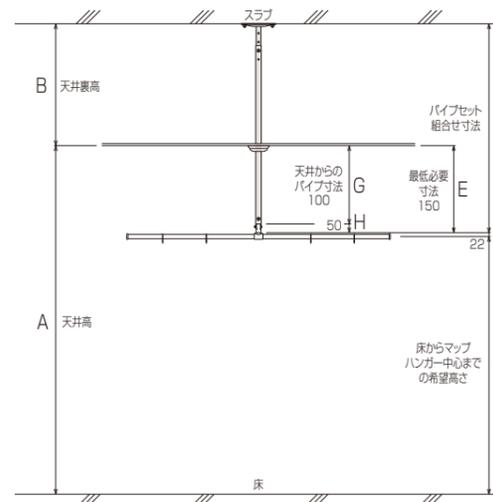


マップハンガーのパイプ長さの決め方

■ 計算式

- 天井から出るパイプ寸法 $G = A - C - D - H \geq 100$
- 組合せパイプ長さ $L = G + B + H (50)$

- A 天井高：床から天井までの高さ
- B 天井裏高：天井裏(フトコロ)の高さ
- C 床からマップハンガー中心までの希望高さ
- D マップハンガーの金具類の寸法(22mm)
- E 最低必要寸法(150mm)
- G 天井から出るパイプ寸法(100mm)
- H マップハンガー本体付属パイプ長さ(50mm)
- L 組合せパイプ寸法



■ 計算例 ※寸法は全てmmです。

天井高(A)を3000、天井裏高(B)を700、床からマップハンガー中心までの希望高さ(C)を2650とした場合。

まず、天井から出るパイプ寸法(G)が100確保できるか計算します。確保できない場合は床からマップハンガー中心までの希望高さ(C)を低くしてください。

- $G = 3000(A) - 2650(C) - 22(D) - 50(H) = 278 (\geq 100)$
- $L = 278(G) + 700(B) + 50(H) = 978 + 50(H)$

P.118のパイプセットからMH-P090Sを選択し、組合せ寸法d点の位置1050で組立てて下さい。

※スラブが傾斜している場合は傾斜自在型スラブ取付板(KY-30F)をご利用ください。
※組合せパイプ長さ(L)=1251mm以上はP.117の特注パイプをご参考下さい。